



今が公務員試験チャレンジのチャンスです

地方上級公務員採用試験が合格しやすくなっています。

下の表は2025年実施の神奈川県と東京都の地方上級試験の実施状況の一部です

自治体名		神奈川県庁		横浜市役所 *				相模原市役所
合格者決定方法		リセット方式		総合得点方式				リセット方式
職種		行政一般	環境技術 (化学)	行政職 (一般)	行政職 (春実施)	社会福祉	環境 (化学)	行政職
筆記 1次試験	受験者数	646	17	841	1,310	246	17	273
	合格者数	551	16	667	334	192	10	210
	倍率	1.17倍	1.06倍	1.26倍	3.92倍	1.28倍	1.70倍	1.30倍
面接や 論作文 2次試験 以降	受験者数	354	9	487	165	192	10	150
	最終合格者数	192	7	270	77	87	3	99
	倍率	1.84倍	1.28倍	1.80倍	2.11倍	2.20倍	3.33倍	1.51倍
最終倍率		3.36倍	2.42倍	3.11倍	17.0倍	2.87倍	5.66倍	2.75倍

		川崎市役所 **		
合格者決定方法		総合得点方式		
職種		行政事務	土木	心理
受験者数		617	9	71
面談対象者		506	8	51
倍率		1.21倍	1.12倍	1.39倍
一次試験合格者		403	7	35
最終合格者		276	6	17
倍率		1.46倍	1.17倍	2.05倍
最終倍率		2.23倍	1.50倍	4.17倍

自治体名		東京都		特別区	
合格者決定方法		総合得点方式		総合得点方式	
職種		事務職		一般事務	
		一般	新方式	春試験	早期SPI
筆記 1次試験	受験者数	1,629	1847	6,080	1,876
	合格者数	未発表	未発表	5,119	979
	倍率	未発表	未発表	1.18倍	1.92倍
面接や 論作文 2次試験 以降	受験者数	未発表	未発表	3,950	729
	最終合格者数	830	410	2,541	309
	倍率	未発表	未発表	1.55倍	2.36倍
最終倍率		1.96倍	4.50倍	2.39倍	6.07倍

*横浜市役所は2次試験の受験者数を公表していないため、計算は1次試験合格者を元に計算しています。

**川崎市は1次試験の筆記試験で一定の点数を取った人だけが面談試験へ進めます。
1次試験の結果は筆記試験と面談試験の各結果を総合して判定されます。

解説 合格者決定方法（リセット方式、総合得点方式）について

総合得点方式とは1次試験から始まる試験の得点を全てカウントする試験です。ただし、その際に配点に修正が加えられることがあります。横浜市事務職の試験は1次、2次試験の配点は最終試験である3次試験である面接試験の10分の1程度になっています。

リセット方式とは1次試験等をクリアすれば点数がリセットされ、次の2次試験等では全員が0点から始める試験です。

